



泊小学校だより ～潮風の中でたくましく～

令和元年 5 月 28 日

第 4 号 校長 山本 洋介

学校のリーダーとして頑張る6年生

6年生の教室にある一人一人の目標には、「最高学年」「リーダー」という自覚のあふれたものがたくさんありますが、6年生は本当に学校の先頭に立って頑張っています。（朝の登校時から下校するまでのあらゆる場面で）

運動会が今週末に迫ってきましたが、運動会の中でも、応援、なかよし班種目等、赤白のそれぞれの組をリードしていきます。時には、上手く折り合いを付けなくてはいけない場面に出くわすことあるでしょう。また、常にリードしていく責任ということへの疲れが出てくることもあるでしょう。ですが、一つ一つの場面を乗り越えながらしっかりと頑張っています。

6年生の頑張りや学校全体での頑張りやで、終了後に達成感が持て、みんなで喜びをわかち合える運動会にしていきたいと思ひます。そして、6年生と共に学校みんなの成長につながっていけるようにと考えています。



運動会テーマ（6年生作成） 運動会応援練習となかよし班種目順番決め（6年生がリードして）

～運動会を今週末にひかえて～

運動会を前に暑さがきびしくなっています。当日は、先週のような5月で30度をこえる真夏日になるようなことはなさそうですが、やはり暑さが気になるところです。なんとか練習してきたことを全て保護者の皆様に披露できればと思っていますが、天候や気温等によっては色々ご理解・ご協力いただくことも出てくるかもしれません。その時は、どうぞよろしくお願いします。

<言葉について>

最近では、SNSで発した言葉が見る間に世界に拡散される時代となり、言葉を軽く考えているのではないかと感じる場合があります。

言葉は、人と人とを結びつけるもので、上手く使えば今よりもっと仲良しにしてくれますが、ひとたび使い方を間違えると人を傷つけてしまうことにもなります。一度、口に出してしまうと引っ込めることはできず、「ごめんね」と謝ったとしても、相手を傷つけてしまっていることもあるかもしれません。

泊小学校では「あったか言葉」を使っていこうという取組を続け、少しずつ雰囲気はよくなっていますが、子ども同士の時、学校を離れたときに課題があります。人を温かくする言葉を使っていると相手からも温かい言葉がかえってくるのではないかと思います。（時には、言い方や態度で使った言葉の意味とは反対に人の心が見えてしまうような場合があります）

子どもたちには、「あったか言葉」に「真心」を乗せて使い、みんなで共に歩む関係をさらに深めていってほしいと考えています。